

日時：2008年3月4日（火）18：30～

会場：練馬ボランティア・市民活動センター会議室

1. 常務理事挨拶

第三回ということで今年度最後。報告が多いので簡潔に説明し、質疑に時間をとらせていただきたい。

2. 本日の会議の進め方について

・ 資料確認・説明

「取組状況」「PT活動状況」の報告のいつもなら2点になるが、来年度の取組みのあらましを説明させていただきたい。

・ 委員長より

今年度の総括と来年度の展望ということで、2時間活発な議論をしていただきたい。

3. 平成19年度取組状況の報告（各部署の重点事業）

資料1「平成19年度重点事業の取組状況（平成20年3月現在）」

（1）各部署説明

庶務係 VC 白百合 かたくり きらら ほっと

（2）質疑応答

- ・ 昨年度と比べて、また、計画が始まった時から比べての報告は来年度になるのか？具体的な会員数などは年度で締めて、来年度の報告になるか？

数値化することが、中々難しいものもあるが、会員などは3/31に締めて来年度に報告することになる。

- ・ 退院促進事業について、詳細を聞きたい。

退院促進事業の詳細を説明

72,000人が長期にわたって入院しているが、支援の受け皿ができていないため退院できていない人もいる。積極的に病棟に地域からの情報をきちっと伝えていく活動をしている。10歳から病院に入っている人もおり、病気の社会的な背景などがある。地域で生活できるぐらい回復している人も多くなか、自分で退院したいという、こういう生活したいという気持ちを聞きながら、当事者に入ってもらい声を聞いてもらう。病院関係者も地域生活している当事者の声を聞き、退院生活の可能性を実感してもらっている。「退院促進事業」とは、情報が病棟に入らなかったことに対して、地域の情報を届けようという事業でもある。

- ・ 資料1 P1「会費・寄付についての検討・取組み」についての具体的な取組みについて

臨時理事会の開催や職員互助会の講演会などここに記されていることと、会費・寄付についての検討・取組みがどのように繋がるのか説明してほしい。

臨時理事会を開催し、理事から様々な提案があったので、その提案をもとに内部でどうするか検討をした。また、職員互助会の講演会では、講師を呼び研修を行ったので会費など財源について考える機会となった。

- ・ そのような協議などの場があれば参加したい。

先般開催された「ねりま子育てメッセ」では、470部？以上のパンフレットが午後1時くらいにはすべてはけ、多くの動員を得た。このような場でも（社協を）「宣伝をしたい」と思った。

- ・ 寄付金控除が1万から5千円になった。PRが必要でないか。ユニセフなどは月々数千円の寄付依頼がある。もっと強力なプッシュが必要なのではないか？

ボランティア情報誌等の広報誌で寄付金控除については、周知を行っている。

- ・ 増収の良いアイデアがあれば、どこも困らない。出した会費に見合うサービスが得られるかということが、会員になる基準ともなる。何をしているかを打ち出せることが大切。地道な取組みを。

4. 推進事業PTの活動状況の報告 資料2「PT、委員会による課題の取組状況」

（1）各PT・委員会の取組内容・成果、今後の取組・課題の説明

相談業務課題調整委員会 広報委員会 拠点PT 人材育成PT 財源PT 実習生委員会（実習生

受入れ担当者委員会に名称変更)

(2) 質疑応答

- ・ 「資料1」経営企画課の相談件数がかかなり多いが、内容等について情報提供などの問合せ等も相談件数として計上している。深い内容などは権利擁護センターなどのほうが多い。
- ・ 「実習生受け入れ担当者委員会」  
大切な事業。学校にも会員になってもらおうと良いと考えられる。  
「ぼけっと」掲載依頼の団体にも、会員依頼しても良い。
- ・ 賛助会員はあるのか？ 特別会員はある。学校に請求してもらって良い。
- ・ 資料2 地域イベントにおける「社協の広報収益活動」システム化  
興味深い報告。講演会やイベントなどの情報収集をどうしているのか？積極的に参加して欲しい。様々な講演会のチラシに社協広告を載せるなども検討したらどうか？  
来年度は、地域振興的な大規模な外部福祉イベントと内部の主要イベントについて実施計画をたてて、取り組んでいく予定である。それ以外の内部主催事業については、広報収益活動のメニューから選択して実施していくこととしている。その他、様々な外部イベントの参加については、各部署のつながりのある地域や団体のイベントに可能な範囲で参加して、次年度以降の検討材料としていく方向性である。
- ・ 資料2 - 「オリジナルキャラクター作製に関する職員アンケート」があるが、具体的な方向性は決まったのか？  
公募の方向性で検討。公募の広報の方法や選定委員など整理が必要。課題を整理した上で決定していく。現在検討中。
- ・ 「人材育成PT」  
努力が効果に表れにくい仕事。目に見えないことに評価をしないといけないので、高い倫理性・道徳性が必要。
- ・ 「財源PT」  
募金活動に参加して感じたこと。目線が合うと知り合いは、募金をしてくれる。人間の心理を利用する方法はないのかと考えた。知り合いだと、恥ずかしくない程度の募金を入れざるをえない。100円募金箱を作ったらどうか？ そうしたら入れやすい。  
「人材育成PT」  
ソーシャルワークと価値。スキルとか技能の前に、社会福祉に関わる価値・倫理があって仕事をしている。そういうことがないと、レスポンスが返ってこないということに、耐えられなくなる。システムとしてどういう組織を作っていくかとなると、基本が抜け落ちてきてしまう。  
P2に「職業倫理を理解すること」としてその重要性については挙げている。

5. 平成20年度の各部署の主要な取組を説明 資料3「平成20年度重点事業」

全体説明

(1) 各部署説明

庶務係 VC 白百合 かたくり きらら ほっと

(2) 質疑応答

- ・ 活動計画との関連でご指摘があれば。活動計画は来年度に中間年になるが、事業計画には載ってきているのか。  
来年度中は検討年となり、21年度中に具体的な方法を考えることとなる。行政の地域福祉計画が見直し年にあたるので、今度は一緒に関わっていくことができればと考えている。
- ・ きらら「退院促進支援事業」についての方向性について  
都は、19年度は6箇所であったが、20年度は12箇所に増やし、全都の退院支援を展開していくことになる。さらに、地域移行事業にランクを上げるなど、東京都も力を入れている事業。病院との関係づくりができてきているので、また違った形での取り組みができると考えている。保健相談所や福祉事務所も関連事業を行っていくので、連携を取った形にしていく予定である。
- ・ ほっと「知的障害者を対象とした生活支援プログラムの検討・実施」について詳細を聞きたい。  
地域福祉権利擁護事業においては、知的・精神の利用者もおり、地域で自立して生活する支援をしているが。家族との生活から一人になった時、自分のお財布の収支の概念などが持ちにくかったり、管理され

ている意識しかもてなかったり、基本的な経済的な概念を持つことが難しい。管理していた親の死去などで、いきなりその場面に遭遇してしまい勉強する機会がないので、作業所の職員とともに一緒に考えていく取組みをしたいと考えている。

- ・ 「石神井の地域生活支援センターの応募」について  
「きらら」では、「出張きらら」などでのボランティア・市民活動センターとの連携が大きかった。石神井をとった時、ボランティア・市民活動センターとの連携をどう考えているのか？ 光が丘の「すてっぷ」との連携は、どうなるのか？ 障害のすみわけは？  
「きらら」には、身体やほかの障害の方もあたりまえのように参加している。福祉事務所の紹介や自分たちが探し当てながら来ている。方向性としては、4つあるいは2つありきではない。サテライト的にゆったりいんな形が組めると思う。まちに開かれたセンターの方向性が見えてきている。今後の方向としては、当事者が見せてくれる動きで自然と見えてきている。バリアフリー、ユニバーサルの感覚が地域で広がってきている。
- ・ 「石神井の地域生活支援センター」については、行政としてどうあるべきかということに関わってくる。「光が丘」は、知的・身体、「きらら」は精神と一応はなっているが、違う障害の方が利用してはいけないということではないし、各センター同士が必要ならつなげる働きが必要となってくる。「石神井」を社協がとるのであれば、連携などを提案していければ良いのではないか？
- ・ 「指定管理者施設」の受託に関しては、職員とPTを作って検討している。
- ・ 来年度PTについて 部署を横断して実施するのか？  
活動計画の計画と実施が反映する事業計画に、変える必要があるのではないか？  
来年度事業計画内で、「活動計画」に関しては具体的には出てきていない。考えたい。

#### 6. 次回の推進評価委員会に向けて

- ・ 説明が長い。なかなか（協議の）時間がとれない。
- ・ 練馬社協の全体の力量、人数、課題では難しい問題もあるが、「こども」のことや「民生委員との連携」などのことには取り組めていない。国や行政などのシステムとして進んでいるが、今後取り組む必要がある。
- ・ コーナーでやっているような小地域の活動などを、職員全体が行うようなひとりひとりのスキルを6種類の研修に落とし込んでいく。
- ・ （計画に関して）真面目に評価・推進をしているほうだとは思う。
- ・ 次回の委員会では数値化してほしい。計画前の数字と比較できるものを提出してほしい。

#### 7. 次回の日程について

日時：~~6月20日（金）~~ 18:30～ 練馬ボランティア・市民活動センター会議室

日時：6月27日（金） 18:30～ 練馬ボランティア・市民活動センター会議室（4月9日付変更）